

【担当課：市民局 男女共同参画課】

議 題	<p>大阪市女性活躍施策検討プロジェクトチームキックオフ・セレモニー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性のキャリアアップを支援し、女性の能力及び活躍の機会を広げていく方策、キャリアアップに向けた相談対応、情報・交流機会の提供 など ・ 仕事と子育て及び介護との両立を支援し、女性の継続就労を支えていくため方策、子育て・介護支援環境の整備、男性の家事・育児・介護等への参画促進、中小企業等の女性活躍推進の取組支援 など
日 時	平成 29 年 7 月 14 日（金曜日）9：40～12：10
場 所	大阪市本庁舎 5階 大応接室
出 席 者	<p>大賀特別顧問、槇村特別顧問、佐野特別参与 （職員等）：大阪市長、市民局理事、市民局女性活躍促進担当部長、市民局女性活躍促進担当課長、市民局男女共同参画課長、市民局男女共同参画課担当係長</p>
論 点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪市女性活躍施策検討プロジェクトチームに対する助言
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪市は多様な施策を実行してきたが、今回は働く子育て世代の女性が官民協働で検討を行い、政策提言するという新たな試みである。 ・ 行政・企業にとって生き残りのためには女性活躍促進が必要不可欠である。 ・ 子育て中の女性に対する過度な配慮を行い、伝統的な価値観で女性や男性をあてはめない。 ・ 女性も男性も、仕事と家庭と自分自身の3つの中で自己成長することが重要である。 ・ 個々人の能力や働き方のニーズに目をくばって考え、多様なニーズを受け入れる体制をつくる。 ・ 女性活躍促進を進めることが、企業や行政の利益につながるという循環を考える。 ・ 民間と行政の新たなコミュニケーションの場としてほしい。 ・ 大阪市がこの4年間で良くなった点として、①女性が庇護の対象で無くなったこと②出産と育児だけでなく、介護の視点も入ったこと③女性の重役が増えたことがある。 ・ 悪くなった点として①女性が責任あるポストにつくことを厭う傾向が高まっていること②大企業の女性活躍は進んできているが、中小企業に課題が残っていること③就業や社会を支えていく部分へのグ

	<p>ローバル化、真の多様化が進んでいないことがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分達の次の世代に何を残せるかを検討してほしい。 ・ 自治体と民間企業がコラボすることは全国初の試みではないか。期待している。 ・ 女性の活躍促進のためには、女性が働き続けられることと、キャリアアップできることが必要である。 ・ これまで、育児休暇などの制度は進んできているが、キャリアアップについては進んでいない。 ・ 残業することが当たり前とされる働き方、女性への過剰な配慮、性別役割分担意識が女性の活躍を阻んでいる。 ・ 「女性はかろうじて仕事と育児・介護を両立している」という段階から「男女ともに家庭責任を担いながらしっかりキャリアアップしている」段階に進めるために、①仕事と育児の両立支援の方向転換②全員の働き方を改革③キャリアアップの視点での女性の育成強化が必要である。 ・ 仕事を免除する育児支援から事業所内託児所、ベビーシッター補助、長時間労働の削減などの仕事支援にシフトすることが必要である。 ・ いかに組織の長を巻き込んでいくかも重要である。企業も行政もお互いに組織の長を巻き込んだ施策を検討してみてはどうか。
<p>結 論</p>	
<p>資 料</p>	<p>資料1 大阪市女性活躍施策検討プロジェクトチームの設置について 資料2 大阪市女性活躍施策検討プロジェクトチーム設置要綱 資料3 大阪市女性活躍施策検討プロジェクトチーム 名簿 資料4 配席図 資料5 佐野大阪市特別参与講演資料 http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000402996.html#02</p>
<p>関係所属</p>	<p>市民局</p>